



第三号

発行：西谷地区まちづくり協議会 奈良県宇陀市室生砥取、滝谷、西谷、龍口、蕨

編集：地域振興部会

桜前線の待ち遠しい
の頃です。お日様の日差
しは遠く山々をかすめ、
もうそこまで春がきて
ます。皆様にはいかがお
過ごしくどうか。

今日は、このような自
然豊かな西谷地域のい
ろいろな活動を紹介しな
がら、この一年を振り返
り、お知らせします。

桜前線の待ち遠しい
の頃です。お日様の日差
しは遠く山々をかすめ、
もうそこまで春がきて
ます。皆様にはいかがお
過ごしくどうか。



西谷の村人によって作られた灌漑
用ため池です。江戸末期慶応三年三
月から約三年間をかけて、完成しま
した。宇陀川の支流である西谷川上
流の谷間を長さ約二百メートル、高
さ約十五メートルの堰堤が水をせき
とめ、九万トンの貯水量があります。
この大事業は、当初は賛成する人
はいませんでした
はいませんでした
たが、石田長蔵
久保田伊平両氏
の呼びかけと熱
意により、延べ
二万人の労力を
費やし完成しま
した。明治十五
年、この功績が
称えられ、日本

第一回は、西谷の「鶴ヶ池」を紹
介します。

『私たちの名所・旧跡』

で最初の藍綬褒章の受章者第1号、
第2号として両氏が選ばされました。

二十八年十一月二十
七日（日）まちづくり
協議会主催の「合同防
災訓練」が行なわれま
した。

当日の朝、あいにく
の雨模様、急遽、第一
部の訓練を取りやめ、

蕨集会所（市指定避難
所）で第二部だけの防
災訓練となりました。
初めに、宇陀消防署
員から「火災報知器は
一般住宅でも設置義務
が法律で定められてい
る」、「消防署員が個
別訪問し、消火器の販
売斡旋することはない」
等が話されました。



堰堤から眺めると引き込まれるよ
うな深緑の水面と池の両側から張り
出した木々の枝による景色は、まさ
に、林野庁による水源の森百選「鶴
が池の森」という風情です。

また、この池は全国でも最大級の

モリアオガエルの生息地とされてい
ます。モリアオガエルは木の枝や水
辺の草等に産卵する珍しい蛙で、梅
雨時期には、樹木の枝などに産み付
けられた卵

その後、「救命救急
講習」と「消火器取り
扱い講習」の二つのグ
ループに分かれて、参
加者七十名が実技に取
り組みました。

救命救急講習では、
傷病者に反応がないと
判断した時は、まず、
119通報し、次に、
呼吸がないと判断でき
る時は、「胸骨圧迫」
を約三十回行なうことが

また、東南海地震は間
違いないと起ると考
えており、その時期
については今後三十年
以内に七十パーセント
の確率とされているこ
となどの話がありまし
た。

私たち住民自らが、
常に地震や災害につい
て関心を持ち、いざと
いうときに落ちついて
行動できるよう、日頃
から正しい心構えを身
につけておくことが大
切であると納得できる
とした。

私たち住民自らが、
常に地震や災害につい
て関心を持ち、いざと
いうときに落ちついて
行動できるよう、日頃
から正しい心構えを身
につけておくことが大
切であると納得できる
とした。

私たち住民自らが、
常に地震や災害につい
て関心を持ち、いざと
いうときに落ちついて
行動できるよう、日頃
から正しい心構えを身
につけておくことが大
切であると納得できる
とした。



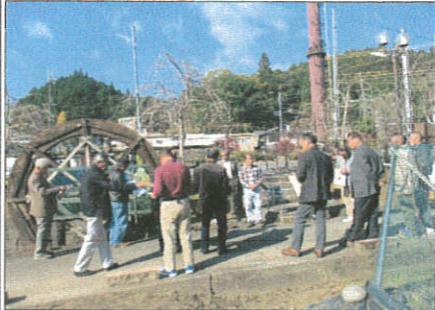
重要と強調されていま
した。

消火器取り扱いでは、
取り扱い方法の他、天
ぷらによる火炎が立ち
上ったときの注意事項
(あわて鍋に水をかけ
ないこと、ぬれフキ
ン等を鍋に被いかぶせ
空気を遮断することが
重要)の説明がありま
した。

視察研修会

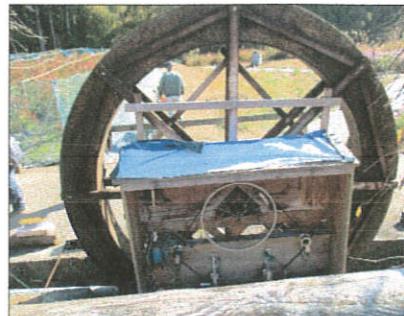
二十八年十一月十二日（土）まちづくり協議会役員と代議員で、研修に行つてきました。研修先は吉野町三茶屋の「吉野小水力利用推進協議会」です。

三茶屋小水力発電研究会会長さんが『見附三茶屋を活性化してみんなが集まるようになりたいと思って始めた。三十世帯ほどのほん全員が製作にかかわり、三ヶ月かけて水車と発電設備を創りましていろいろなイベントをしてにぎやかになります。』と、これ



三茶屋エコ・えくねの「吉野小水力利用推進協議会」です。三茶屋小水力発電研究会会長さんが『見附三茶屋を活性化してみんなが集まるようになりたいと思って始めた。三十世帯ほどのほん全員が製作にかかわり、三ヶ月かけて水車と発電設備を創りましていろいろなイベントをしてにぎやかになります。』と、これ

までの経緯を説明してくださいました。この発電設備は、旧館の駐車場傍にあります。直径約三メートルの手作り水車を回し、発電していました。発電した電力は、駐車場の街灯とシダレサクラのライットアップに活用しているそうです。



第一回は、龍口獅子舞は、伊賀系の大人二人立ち獅子舞の伝統を忠実に伝承している龍口獅子舞保存会です。毎年十月の第四土曜日と日曜日、神社において、「四方」「御参」「悪魔祓い」「天狗」「獅子踊り」の五神楽が奉納され、また、龍口全戸で内安全を祈願して「村舞わし」が行われます。

平成4年、伝統芸能の承継を目的とし、龍口獅子舞保存会が設立され、各地（ニュージーランド、奈良県芸術祭、大立山祭り等）で、伝統芸能として披露してきました。

宇陀市人権教育研究会からお借りしたチャレンジ、ケンガリ等楽器を



今年二回目となる学習会は、張百合子（チャンユリコ）さんを講師に迎え、「差別のない社会をともに創るために」という演題でお話

人権学習会

十一月二十六日（土）

生い立ちの中から在日韓国人としての誇りを取りもどすまでのお話や身近な例をもとに語るお話は、私たちに多くの気づきをもたらす講演になりました。

また、学習会では、



宇陀市人権教育研究会

つかつての体験演奏も行われました。



《編集後記》

今号から、地域の名所旧跡を『私たちの名所旧跡』と題して、5大字それぞれ順番に紹介します。

第1回は、西谷の「鶴ヶ池」です。

また、『こんなことしてます』で、各地域で行われているいろいろな活動も紹介していきます。

ご意見、投稿をお待ちしています。

民生委員・児童委員と主任児童委員の紹介

本年十二月一日付けで、民生・児童委員に龍口の抜井美幸さん（西谷、龍口）と砥取の前川映子さん（砥取、滝谷、蕨）が、また、主任児童委員として滝谷の山本篠子さんが新しく委嘱されました。（主任児童委員の担当地域は、旧室生村地域全域です）